

はじめまして、 『はちのへバス便り』です。

このお便りでは、路線バスを中心とした「公共交通」についてのいろいろな話題をお届けします。

発行：八戸中心街ターミナルモビリティセンター

はちのへバス便り



お気軽に
お声がけ
ください！

実施場所

南部バス河原木団地線の車内、
中心街ターミナル3番乗り場
(中央通り)のバス停

私たちも初めてのことで、まだまだ改善すべきことはありますが、一人でも多くの方の手助けになれるよう、日々努力していこうと思います。



1月17日から、新しい取り組みの一つとして、「バスの乗降支援・バスの時刻、路線の案内を行う『アテンダント』」を始めました。これは、バスの車内やバス停などで、乗り降りに苦労する方々のお手伝いや(荷物を)持ったり、ちよつと肩を貸したり、路線・時刻の案内などを行う取り組みです。

「アテンダント」が始まりました！

現在バスを利用している人もそうでない人も、できるだけ多くの方が「より快適に、より安心して」バスに乗れるように、スタッフ一同がんばっていきます！



公共交通再生拠点 「モビセン」開設！

モビセンQ&A

Q 八戸中心街ターミナルとは？

A 中心街にある5カ所のバス停をまとめた呼び方です。乗り場の番号は、三日町＝①番、八日町＝②番、中央通り＝③番、朔日町＝④番、六日町＝⑤番です。

Q モビリティセンターってなに？

A 主に、公共交通の案内(バスの路線や運賃、時間などバスに関する情報)をする所をいいます。

Q どこにあるの？

A 八戸中心街ターミナル3番乗り場(中央通り)の向かいです。
※バス乗り場までは、横断歩道を渡りましょう！

Q 料金は？

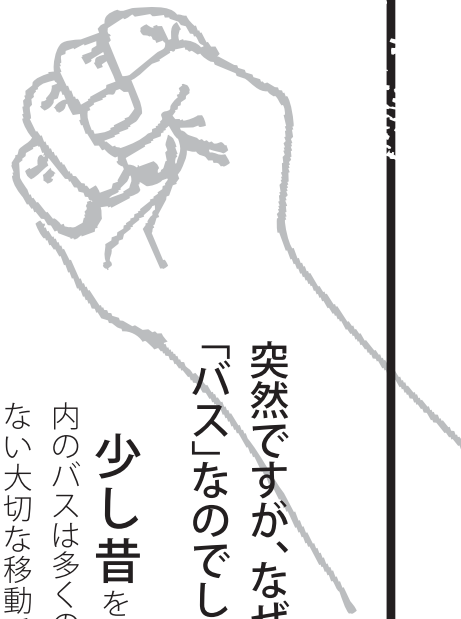
A バスに関するご案内、ご相談はもちろん無料です。
※回数券の販売のみ、代金をいただきます。



- 運営主体：社団法人北海道開発技術センター
- 住所：八戸市大字三日町14-2 青山テラス(旧笹川ビル)1階
- 電話：0178・20・9150
- FAX：0178・45・3280
- 営業時間：9:00～18:00(土日祝日は17:00まで)
※定休日なし



モビセンからの宣言！



突然ですが、なぜ今「公共交通」、
「バス」なのでしょう？

少し昔を振り返ると、八戸市

内のバスは多くの方の「生活に欠かせない大切な移動手段」の一つでした。ところが、生活が豊かになるにつれ、たくさんの方が自動車を持つようになり、普段の移動のほとんどが自動車です。でまかなわれるようになりました。その結果、バスを利用する人は年々減少し、今では20年前の2割程度の利用しかなくなっていました。

さて、ほとんどの人が自動車を

持つことになった社会では、バスの必要性は低いのでしょうか？人があまり乗らなくなったバスはいらないのでしょうか？

みなさんの周りに、バスを利用して
いる人はいませんか？

バスがあるから、自由に外出できて
いる高齢者の方、バスがあるから学校
に通えている学生はいませんか？

利用者が少なくなったとは

言え、バスを利用している人、バスが
あるから生活できている人は必ず
存在します。

だからこそ、「バスを守る」こと
が必要なのです。

だからこそ、八戸市ではこれま
でもバス利用の減少に対して、税
金による赤字補填やより便利な路
線の検討など、さまざまな取り組
みを行ってきたのです。

だからこそ、バス事業者は経営努
力を重ねて、できるだけ路線の廃止
や便数の削減にならないようぎり
ぎりまで踏ん張ってきたのです。

それでも、バス利用者の減少は
続いています。

現在、バスの利用者数は3年前
の7割以下、20年前の2割以下と
なっているのです。

さて、どうしたものか。

そんなことを言われても、やっぱ
り自動車が絶対に便利ですよ？

なんだかんだ言っても、やっぱり
行き先や時間に制約のあるバスは
使いづらいですよ？

モビセンが目指すのは、そ

んな皆さんの声を「意外とバスつ
て使えるじゃない！」という声に
変えていくことです。「たまにはバ
スで行こうか！」という声を創り
出していくことです。

そして、できるだけ多くの方の
「移動手段の一つ」に、「バス」を加
えることなのです。

「バスを守る」きっかけ

づくり。地道なところから始めて
いきます。